

言語文化×英語 教科横断型授業
 ~ 英訳を通して『羅生門』を読み解く ~
 翻訳者・先生方の英訳一覧

市立札幌藻岩高等学校 對馬光揮

| | | |
|----------|---|--|
| ジェイ・ルービン | You're sure she would, eh? この女はお前のすることをきっと理解してくれる…そうなんだろう? | "I'm sure/You're sure"は「きっと」という意味。 "she would"は前段の"I think she'd understand what I'm doing to her."(この女だって私がしたことを理解してくれるだろう)という老婆の発言を受けた表現。 "understand what I'm doing to her"を省略することで原文の余韻が表現されている。 "eh?"は間投詞(Ah/wowなど)の一つで、「だろう?」「そうではないか?」「えっ?」「何だった?」という意味を持つ。 |
| 小島嶽 | Are you sure? 本当にそれでいいんだな? | 日常会話でよく使われる表現。 "Really?"に近いが、"Are you sure?"はどこか疑問を感じている時に使われ、「本当なのか?」「確かめたくえでそう言っているのか?」「本当にそれでいいのか?」と念を押す意味合いを持つ。 例:パソコンでデータを入力中に保存せず閉じようとした時"Are you sure you want to leave this page?"(本当にこのページを離れますか?) |
| 黒井先生 | Now I finally understand. 今、ようやく分かった。 I know who I am now. 自分が何者か、今、わかった。 | 老婆に出会ってからの場面では、下人の葛藤と心情の変化が描かれていました。私は、この心の揺れの正体が何者か分からずに下人が苦しんでいるように思えました。そして老婆の話を読み、老婆という「悪」と出会うことでようやく自身の「正体」を認知し、肯定できたのではないかと感じました。「きっと、そうか」は「自分自身の悪の存在を認知できた言葉」であり、その時の下人は、難解な問題を理解できたというある種の「解放感」もあつたのではないのでしょうか。 下人は自身の衝動を抑えられない人間であり、それを正当化しようとしているものの、その行動は非常に暴力的であると思いました。もちろん、彼をそうさせたのは彼自身の問題というより、もっと大きな時代・社会・環境などの要因もあると思います。 「きっと、そうか」とは、老婆の話を読み下人が自身の中にある悪魔の存在に身をゆだね、ようやく「自分が何者か」がわかった瞬間の言葉だと捉え、闇落ちした悪のヒーローのようなセリフにしてみました。 |
| 金子先生 | Of course, she would. 言うまでもなく、その女もそうするということだな。 | "she would"は、老婆の生きるための悪を主張する自己弁護の最後「~そのしかたがないことを、よく知っていたこの女は、おおかたわしのすることも大目に見てくれるであろう」に対してストレートに「その女はそうするだろう」を表す表現です。実際には老婆が髪を抜いている女はすでに死んでおり、意思の確認はできないことから「(その女の意思を確認する術があるならば)大目に見てくれるんだろう」と非現実的な条件が含まれるため、仮定法のwouldを用いています。 "Of course"については、「きっと」を単純に英訳すると"maybe"や"surely"などの副詞、もしくは推量の助動詞を使って表すことになるかと思いますが、「Of course"(もちろん、言うまでもなく)という強い肯定をここで用いたのは、この状況で下人の放つ「きっと、そうか」は「生きるためには盗人になるしかないことを理解しながらも、盗人になる決心がつかない自分を奮い立たせる言葉」だと考えたからです。 死んでいる女が老婆を大目に見るかどうかはわからない(どうでもいい)が、老婆の論理を無理やり肯定し、自分がこれから老婆に対して行う行為も正当化してしまおうという下人の気持ちを「Of course」で表現しました。 |
| 天野先生 | Oh, I got it. Why didn't I think of it? そうか、わかったぞ。それだ。なぜそれを考えなかったんだ。 | "I got it."はカジュアルに相手に対して「わかったよ」という返事でも使われますが、その単語が持つ意味の通り、「何かを得た」ということなので、老婆の言動を目の当たりにして、ピンとひらめいた感じを表現しました。 そして、"Why didn't I think of it?"は、直訳すると「なぜ私はそのことを考えなかったのか」ということですが、否定疑問文なので「なんでそんなことにも気づかなかったんだ、それがいいじゃないか、それだよ」と自分の気づきに納得しているニュアンスを表現しました。 |
| 野田先生 | That's what I've wanted. それがやりたいと思っていたんだ。 That's what I should. それが俺のすべきことか。 | 下人の「したい」という感情は、揺れ動きつつも冒頭から現在に至るまで続いているため、状態動詞の現在完了形(have+過去分詞)を用いました。 本来、"wanted"の後には"to do"が来るはずですが「きっと、そうか」という短い原文を表現するために省略しました。 また、現在完了の"have"は、口語でははっきりと発音されずに'veという音で発音されることが多いので、「I've」にしました。 冒頭の本文「盗人になるよりほかにかたがたい」を踏まえ、"したい"ではなく「すべき」という英訳も考えられます。 "must"も同じような意味合いがありますが、"must"は自発的に行うもので、"should"は外発的な要因によって行為するニュアンスを持っているので、洛中の衰微を受けて盗人にならざるを得なかった下人としては、"should"を用いるのが効果的だと思いました。 |
| 沢出先生 | This is humans. これが人間なのだな。 | 生きるためには何をしてもいいという自己中心主義を、何の臆面もなく述べる老婆に対して、「お前の言うことはわかった」という主旨を短く伝えるならば、「I'm sure you are right.」や「I got it.」といった英訳が可能でしょう。 あるいは、葛藤していた下人が老婆の話聞いて「吹っ切れた」と解釈するならば、意志を表す助動詞"will"を使い、「I will decide to be a theft.(盗人になってやる)」や「I will survive no matter what I do.(どんなことをしても生き抜いてやるぞ)」という訳も考えられます。 しかし、私は老婆の自己弁護の中に3回登場する「しかたがない」という言葉に注目しました。老婆の話を読み、下人の中で芽生えた「諦念」をここで表現しようと思い、この訳を考えました。 |
| 市澤先生 | Nothing must be more precious than my life. 自分の命よりも大切なものなどないに違いない。 | 「きっと、そうか」を、①「きっと」と②「そうか」に分けて考えました。 まず「そうか」については、文脈から「自分の命以上に大切なものなど、この世にないのだ」と解釈しました。この部分の英訳については、高校の文法書でも鉄板例文である「Nothing is more important than time.」(時間より大切なものはない)を応用しています。 次に「きっと」については、確信のニュアンスを含む助動詞"must"を選びました。どちらの表現も高校1年生で扱うものなので、予習がてら参考にしてみたいです。 |
| 菅原先生 | Then so be it. それなら、そうしよう。 | "Then"には「それならば」「そうしたら」といった意味が含まれています。 "so be it"は英語のイディオムで、映画でもよく使われる会話表現の一つです。「対峙している問題や状況をそのまま受け止める」という意味合いを持っており、ネガティブ・ポジティブ両方の文脈で用いられるため、その意味合いも文脈によって微妙に変わってきます。 下人の心情をある一つの解釈で制限しないような訳し方を意識してみました。 |